

file. 02
category. 対話
time. 12:30~16:00
location. 多世代の居場所
メロディーココ
幸区中幸町 4-21 1F



毎月1回ワーカーズコレクティブ メロディーが運営する「メロディーココ」で開催 (大人1オーダー制※お茶代、子ども無料)。公園などでフィールドワークを行うことも。今後は月額制で小さな書店を有する「シェア本棚」の取り組みをスタートし、本を通じた交流や運営の自治を目指す

コミュニティカフェ「メロディーココ」で月1回開催されている「ことばすけっと」は、参加者の誰もが気軽に話せる対話の場です。身近な話題から小さな悩み、困りごとなど、対話がどんどん広がっていきます。

主催している佐々木素眸さんは、「一見、かけ離れているように思われるかもしれませんが、暴力の連鎖を止めたいという思いが根底にあります」と話します。

「暴力と言っても身体的なものだけではなく、言葉や環境も含めて、なぜ相手を傷つけてしまうようなことが起こるんだろうという疑問がかねてからあったんです」

探求するうちに、身の回りの事象や本、映画を通して、被害者が加害者になってしまふ負の連鎖の存在に気づいたそうです。

「傷ついた経験や違和感など、モヤモヤした感情をため込んで大きくなってしまふと、他者への敵視や、取り返しのがたないことにつながってしまうことがあります。その前に吐き出せる場所をつくれないうという思いで『ことばすけっと』を始めました」

開催時間中は出入りが自由で、近所に住む親子や偶然通りがかった外国人にルーツのある方などがふらりと訪れます。

「毎回いろんな方が来て、家族や会社などの属性を取っ払って話ができます。聞き手がいるからこそ出てくる話がたくさんあって、こうした聞き合う場があることで私自身も救われているなど感じます」

ことばすけっと

困り事の相談だけでなく交流の場として多くの人が集う



file. 01
category. コミュニティー
time. 12:00~16:00
location. みた・まちもりカフェ
多摩区三田 1-13-104

探訪! 川崎 午後の居場所

午後は、みんなが集う憩いの場へ。市内には、多様な暮らしのなかで生まれた「居場所」がたくさんあり、さまざまな人が交わり、つながる場として地域を支えています。



困り事の相談だけでなく交流の場として多くの人が集う

みた・まちもりカフェ

このまちに住んで良かったと思えるまちにしていきたいという思いからスタートした、地域住民グループ「三田サポートわなり」の活動は、コミュニティカフェの運営のほか、講座やイベントの開催、家事支援など暮らしのサポート、小学校での寺子屋事業と多岐にわたります。なかでも「みた・まちもりカフェ」には、健康マイジャンや短歌など、お目当ての講座を楽しむ多くのシニアの姿が。

「最初の頃は講座も少なく、私が絵手紙を教えたこともありました。そのうちに英語が話せる人やバイオリンを弾ける人が出てきて、どんどん講座が増えていって。お客さんとしてカフェに来ていた人が『こんなこともできるよ』って講師になってくださるんです」と代表の安井さんは言います。

ピアノの生演奏に合わせて歌謡曲からシャンソンまで20曲以上を歌唱する歌声喫茶も、お客さんの発案でスタートしたそう。伴奏を務める男性は、はるばる千葉からこの講座のためだけに川崎に来ており、ここでの交流が人生の楽しみの一つになっているのだとか。

「常にカフェがオープンしていることに大きな意味合いがあって、ここに来れば誰かしら知り合いがいるということが皆さんの元気の源になっていると思います。だから絶対にこの場所をなくしたくないんですよ」

そう語る安井さんをはじめ、お客さんの表情からは、この日のラストに歌われた「今日の日はさようなら」の歌詞にあるとおり、生き生きと「自由に生きる」様子が伺えました。



コミュニティスペースとして平日12時~16時にオープンしている「みた・まちもりカフェ」は、困り事の相談のほか毎日行われる講座も人気。左の写真は代表の安井俊子さんと、立ち上げから一緒に町田浩子さん



file. 04
 category. こども食堂
 time. 17:30~19:30
 location. あらぐさ教室
 中原区下小田中1-5-1



子どもも大人もみんなで食事をする楽しみを共有

あらぐさこども食堂

武蔵中原駅からほど近い古民家で、安心と学びの場を提供している「あらぐさ教室」。

ここは、勉強だけではない五感を通した学びが中心となり40年以上前から自主運営を続けてきました。昨年からは、子どもが気楽に立ち寄れる居場所として、フリースペースを開始。ここで、月2回こども食堂が開かれています。「テレビで日本初こども食堂に関するニュースを見てすぐに、私たちもできるかなと運営会議で相談したんです」と話すのは、発起人の一人であり「この場所が大好きだから」と長年運営に携わる上野規子さん。助成金の申請などを経て平成28年7月からこども食堂を開始しました。

「最初は子どもたちのために、と思いましたが、誰でも受け入れるようになった今は、多世代の交流の場となっています。70代の方から『ここに来ると子どもや若いお母さんの声を聞いて、元気がもらえるわ』と言ってもらうこともありうれしいですね」

運営は市の子ども食堂ネットワークと連携。企業からの食糧支援や、活動を知った方からの援助も大きいようです。

「ボスターを見て、私にもできることがあるかしらって、調理ボランティアに来てくださる人もいて、人の温かさが広がっていくのを感じます。調理スタッフは平均年齢74才。まだまだ頑張っています、この場所を次世代にもつなげていきたいですね」



毎月第2・第4火曜日に、あらぐさ教室で開催。材料費として、参加には子ども（高校生まで）100円、大人300円が必要で定員20名。事前申し込み制。食事が終わった後は子どもたちは2階で自由に遊び、大人は1階で会話を楽しんでいる

file. 03
 category. 学習支援
 time. 17:30/18:00 ~ 21:00
 location. 高津市民館
 てくのかわさき
 エポックなかほら



中・高校生を対象に、教育機会、居場所、物資の3つを提供する無料塾として2021年に開校。講師は大学生がボランティアで務め、個別指導を基本に、それぞれの生徒に合ったスピードと教材で授業を行っている

高津区・中原区を拠点に中・高校生の学習支援と居場所提供を行っている無料塾の「かわさき芽吹塾」。代表の吉沢春陽さんを始め約70名の大学生が講師となり、金銭面など家庭の事情で塾通いが困難な生徒たちの支援を行っています。

「子どもの7人に1人が貧困状態であることが知られて、さらに親ガチャというワードが流行語になったことに衝撃を受けました。経済状況や周りの環境によって子どもの人生が左右されてはいけないと思い、2021年にかわさき芽吹塾を立ち上げました」

出会った生徒は70名以上。生徒と年齢の近い大学生が講師であることが、学習面以外にも良い効果をもたらしているそうです。

「中には親にも学校の先生にも言えない悩みを打ち明けてくれる子もいました。大学生の僕たちは専門的なアドバイスはできませんが、話を聞いてくれる人がいるということが彼らの心の支えになっているのではないだろうか」

開校から4年が経ち、大学生となった生徒が講師として塾に帰ってくるうれしい出来事も。「困っている人がいれば当たり前前に手を差し伸べられる大人になってほしい。そんな思いも込めながら生徒と接してきました。かつての生徒が講師として活動に参加してくれることがうれしいです。そしてこの塾で一番伝えたいのは、学びたいという気持ちや好きな事への情熱を諦めないでほしいということです。どの子も自分を信じて前に進んでもらいたいです」

かわさき芽吹塾

現役大学生が無料塾で学習と居場所を支援



毎年10月中旬～4月上旬まで開催されている「ジュエルミネーション」は、光のプロフェッショナル・石井幹子デザイン事務所が手掛けた、世界で初めて宝石色をイメージしたLEDを使ったイルミネーション。いつもの乗り物や遊園地全体が幻想的な光に彩られ、思わずため息が出てしまうほどの美しさ。どこで撮っても宝石箱の中にあるような写真が撮れ、特別な体験ができること間違いありません。

よみうりランド **Tama** ジュエルミネーション 宝石に 包まれる夜



園内のイルミネーションが一望できる観覧車からの眺めは圧巻です。眼下に広がるきらびやかな園内と、遠くに広がる街の夜景が一緒に楽しめます



よみうりランド
東京都稲城市矢野口4015-1 問い合わせ：044-966-1111(総合案内)



©Ryuya Amao

スタンディングで500人を収容できるホールをはじめ、配信や小さなライブなどに使える多目的BOXや、天然芝を使った開放的な屋上庭園があります



©Ryuya Amao

Saiwai

新たな才能ココで輝け! SUPERNOVA KAWASAKI

令和5年10月にオープンしたライブハウス。「音楽のまち・かわさき」から、世界中に愛されるアーティストに育つような、新たな才能が開花する場になることを願って「SUPERNOVA (イタリア語で超新星)」という施設名が付けられま

した。川崎駅改札口から徒歩5分という立地の良さと、大型ビジョン(300インチ)や最新の音響、照明設備が魅力。アーティストのライブやコンサートはもちろん、地元の企業イベントや展示会、パーティー会場などでも利用できます。

SUPERNOVA KAWASAKI
(スベルノーヴァ・カワサキ)
幸区大宮町1-13
問い合わせ：044-388-9839



カワサキ *night* は つどわ *night*

川崎には、夜でも楽しめるイベント・スポットが盛りだくさん。仕事帰りに気の合う仲間と立ち寄り、週末に家族や友達と遊びに行ったり…みんなで集い、川崎の夜を楽しもう!

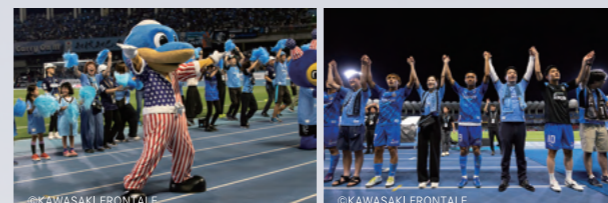
1 スポーツ観戦で **Nakahara** エキサイト in 等々力



©KAWASAKI FRONTALE

みんなで届ける熱い応援! サッカー・川崎フロンターレ

スタジアムを訪れての観戦は、飛び交う声援や応援歌など、現地ならではの熱気、サポーターの一体感が魅力。ナイター試合では、チームカラーの水色のペンライトが会場を一層盛り上げます。



試合によっては、ハーフタイムにチアダンサーやマスコットによるショーも。勝利の後のバンザイ三唱で気分は最高!

川崎フロンターレ
ホームスタジアム：Uvance とどろきスタジアム by Fujitsu 中原区等々力1-1
問い合わせ：0570-000565 (川崎フロンターレ事務所)



©KAWASAKI BRAVE THUNDERS

至近距離の激闘に大興奮! バスケット・川崎ブレイブサンダース

室内で天候に左右されることなく観戦でき、音楽や照明による演出も魅力的。何より選手との距離が近く、目の前で飛び交うボールや、迫力あるプレーを間近に見ることができるので、臨場感あふれる試合が楽しめます。



©KAWASAKI BRAVE THUNDERS

©KAWASAKI BRAVE THUNDERS

川崎ブレイブサンダース
ホームアリーナ：川崎市とどろきアリーナ 中原区等々力1-3
問い合わせ：川崎ブレイブサンダース公式HP



地域の人たちなどが集まって行われている催し物には、親子そろって参加する人も多く、自然の大切さを学べる場になっています



そとまBASEでの竹灯籠の展示の様子

豊かな自然と 共存する とんもり谷戸



Miyamae

豊かな動植物が生息する生田緑地の初山地区一帯、通称「とんもり谷戸」。地域の人たちの活動によって、守られ続けています。農作業体験ができる畑や水田、雑木林などがあり、虫たちの活動を観察する「夜の観察会」や、竹林整備を体験した後、ドリルで竹に穴をあけ、オリジナル竹灯籠を作るワークショップ、「どろんこ」教室など、自然を感じながら体験できるさまざまなイベントが行われています。

とんもり谷戸 宮前区初山1-17

川崎市制記念多摩川花火大会



歴史を紡ぐ、 夜空に咲く花

Takatsu

二子橋付近の多摩川河川敷で行われる「川崎市制記念多摩川花火大会」は、今年(令和7年)で84回目の開催となる歴史ある花火大会です。毎年約20万人が訪れる秋の風物詩で、大会の目玉となる「ハナビリュージョン」は、音楽と花火のコラボレーションが魅力的。また、花火のほかに、川崎にゆかりのあるアーティストを迎えたステージイベントも開催しています。

川崎市制記念多摩川花火大会
多摩川河川敷(高津区諏訪2丁目先)
問い合わせ: 044-200-2329

(川崎市経済労働局観光・地域活力推進部)



例年10月に開催されていて、約6千発もの多彩な構成の打ち上げ花火が、華やかに夜空を彩ります

工場夜景観光発祥の地!



幻想的な 工場夜景

Kawasaki

川崎の臨海部は、7つの島とそれを取り囲む16の運河で構成されていて、工場夜景観光の発祥の地として振興を開始して以降、その光景を眺めるために多くの人々が訪れるようになりました。工場夜景を陸から眺めるバスツアー、海から眺めるクルーズツアー、タクシーで鑑賞スポットを巡るプランが開催されているほか、各工場の協力のもと敷地内に立ち入る特別なツアーも開催されています。また、市内企業との連携により、川崎工場夜景とコラボしたさまざまな商品も生み出されています。



(一社)川崎市観光協会提供



(一社)川崎市観光協会提供

バスツアーや展望デッキ付きの屋形船に乗って運河を巡るクルーズツアーは、定期運行開始から15年が経過した現在でも大人気

臨海部の工場エリア(川崎市)
問い合わせ: 044-544-8229 (一般社団法人川崎市観光協会)



「ヒカリノイズミ
(工場夜景×クッキー)」
(泉屋東京店)



「黒に浮かぶ
(工場夜景×ビール)」
(東海道 BEER 川崎工場)

小劇場では舞台をはじめ、コンサートや寄席などを開催。そのほか、市民劇団やワークショップなどの市民参加事業も多く行われています



芸術のまちの 文化拠点 川崎市アートセンター

Asao

「しんゆり・芸術のまち」に、新しい文化振興の拠点として作られた、芸術文化施設です。光あふれるガラス張りのエントランスが特徴的で、中には小劇場や映画館、工房・研修室などがあります。バリアフリーにも対応した、113席の映画館では、新作から名画まで、国内外の選りすぐりの映画を上映。駅からも近いので、ふらっと立ち寄れます。



川崎市アートセンター
麻生区万福寺6-7-1
問い合わせ:
044-955-0107

